

平成26年度事務事業評価シート		該当事業(評価対象外事業は基本情報のみ記載)		
		一般事務	公共建設事業	評価対象外事業
事務事業名	農地・農業用施設災害復旧事業			
予算科目	11 款 1 項 1 目			
総合計画での位置付け	産業の振興～もりもり元気なしごとづくり～ 農業の振興			
所管課情報	担当課: 農林水産課		電話番号(内線): 583	
記入者情報	所属長: 亀岡 泰三		担当責任者: 角田 栄治	
実施期間	【開始年度】平成 26 年度 【開始年度】設定なし			
事業の対象	農業者等(受益者)			
事業の必要性	農道の通行止め、水路の破損等による生産性の低下を防ぐため、早急な機能回復が必要である。			
施工方法、場所	【施工方法】 請負	【施工場所】		市内一円
運営方法	【運営方法】 受益者	【運営費(予定)】		
事業の目的	被災箇所の復旧を行い、農地、農業用施設の機能回復を図る。			
事業の内容	農地、農道、水路、頭首工等の機能回復する。			
改善策の 具体的 取り組み (当初)				
改善策の 具体的 取り組み				

事業費及び財源内訳					
項目	25年度決算	26年度予算	9月末の執行状況	26年度決算	
事業費	直接事業費	3,774	4,000	3,567	3,567
	人件費	2,847	2,783	1,391	2,783
	合計	0	6,783	4,958	6,350
人件費 内訳	人工数	0.35	0.35	0.18	0.35
	人件費単価	8,135	7,954	7,954	7,954
	補助事業人件費	0	0	0	0
	人件費	2,847	2,783	1,391	2,783
財源内訳	国庫支出金	1,415	0	0	0
	県支出金	0	4,540	4,414	4,540
	地方債	0	0	0	0
	その他	539	1,103	1,048	1,103
	一般財源	4,667	1,140	-504	707

実施スケジュール							
項目	25年度以前	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度以降
賃金							
需用費・役務費	30						
委託料・使用料							
工事請負費	1,000	3,567					
負担金補助及び交付金	276	11					
年度別事業費	1,306	3,578					
財源	国・県支出金	650	4,540				
	地方債						
	その他	40	1,103				
	一般財源	616	-2,065				
国・県支出金等名称							

成果指標				
成果指標	実施事業量÷被災事業量×100			
指標設定の考え方	被災事業量に対する実施事業量の割合を上げることで、機能回復を図ることになる。			
区分年度	25年度	26年度	27年度	目標26年度
目 標	43.4%	-	-	89.2%
実 績	-	-	-	-

自己評価				
自己評価 (担当責任者)	妥当性	目的の妥当性	4	B
		市民ニーズへの対応	4	
		市の関与の妥当性	3	
	有効性	事業の効果	4	B
		成果向上の可能性	3	
		施策への貢献度	4	
	効率性	手段の最適性	4	B
		コスト効率	3	
		受益者負担の適正	4	
課題認識	農村の景観保全及び農業の生産性を維持する重要な事業であるが、農業者の高齢化及び後継者不足により、受益地が減少し復旧工事を断念する事例が発生してきた。			

一次評価				
一次評価 (所属長)	妥当性	目的の妥当性	4	B
		市民ニーズへの対応	4	
		市の関与の妥当性	3	
	有効性	事業の効果	4	B
		成果向上の可能性	3	
		施策への貢献度	4	
	効率性	手段の最適性	4	B
		コスト効率	3	
		受益者負担の適正	4	
課題認識	農業者等の受益者から早期復旧の要望により復旧工事を実施しており、農業の生産性を維持するための重要な事業である。農業者の高齢化及び後継者不足により復旧工事を断念するケースも発生しており、農村の景観保全を図るうえからも地元負担率を含め、対応を検討する必要がある。			

二次評価	
二次評価 (所属部長)	一次評価結果のとおり事業継続と判断する。
意見、課題	

行政評価委員会の答申

外部評価  
(行政評価委員会)

経営者会議の最終判断

事業の方向性

現状のまま継続する。

意見、課題